

2011年1月13日、NRIプロセスイノベーション（NRI-PI）は「ビジネス・プロセス・アウトソーシングサービスセミナー」と題するセミナーを開催した。当日は国内の資産運用会社から45名の参加をいただいた。

まずNRI-PI取締役社長藤田勝彦が挨拶し、2010年7月に再編発足したNRI-PIについて紹介を行った。その後、資産運用会社の抱える課題やNRI-PIが提供するバックオフィス業務のBPOサービス等について5つの講演を行った。

講演1 日本の資産運用会社のコスト構造と課題 —効率性を重視したコスト構造への転換を目指して

NRI金融ITイノベーション研究部 上席研究員 堀江 貞之

日本の資産運用会社の営業利益率はここ数年低下が続いている。その理由の一つは、収入が減少している中で、人件費の圧縮が進んでいないことである。また、NRIが実施した調査の結果から、国内系運用会社では部署間の給与水準に大きな開きがないものの、外資系運用会社ではフロント・バック間で大きな開きがあることが分かった。

総括として、人事政策の柔軟な設計、人件費の変動費化、ファンドあたりコストの削減を目的とした人件費の削減や労働生産性の改善など、将来に向けて検討の余地があり、BPOはそれを解決する有効な選択肢のひとつであると説明した。

講演2 資産運用会社のBPO事例

NRI-PI事業推進部長 村瀬 剛史

国内系大手資産運用会社（A社）から投信バックオフィス業務の全面アウトソースを受託した事例について紹介があった。

アウトソースは、投資家向け投信レポートの一部（新目論見書、週報・月報）、投資顧問レポートの一部（四半期報告書）を除くバックオフィス業務全般を対象範囲とし、A社においてこれまでその業務に従事してきた人

員をNRI-PIで受け入れた。A社のBPOへの期待としては、①要員退職リスクの低減、②コスト変動費化、③システム移行リスクの低減（今回はシステム移行を同時期に実施）、等があった。契約後、業務プロセスの洗い出し、A社内関連部署との調整、社内システムの切り分け・再構築等、問題は山積していたが、約3ヶ月の短期間でやり遂げることができた。

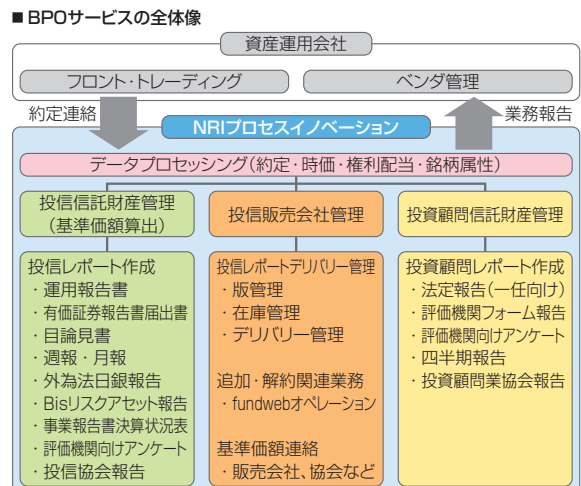
講演3 投信信託財産管理サービスのご紹介

NRI-PI戦略マーケティング部長 内藤 利明

「業務品質」「内部統制」「見える化」に重点を置き、結果的には資産運用会社のコスト削減効果も期待される投信信託財産管理サービスについて紹介した（図表1参照）。

サービス提供にあたっては、お客様と業務内容についてのヒアリングを通じ、業務分析、タスク分解、業務改善等を盛り込んだ業務内容規定書を作成する。業務内容規定書では詳細な業務の流れ、使用帳票、目標時間等の詳細事項を取り決める。また、業務目標指数KPI（キー・パフォーマンス・インディケーター）を設定し、取り決めに従い業務遂行する。このサービスは業務遂行BCPとして複数拠点を準備している。日々の遂行結果は定期報告会等で詳細に報告している。

図表1 アウトソース対象範囲



講演4 外部委託運用管理業務 BPOサービス

NRI資産運用ソリューション企画部 上級システムコンサルタント 中山 浩之

マザー／ベビー、ファンド・オブ・ファンズ等のファンドの運用形態が多様化し、運用を外部委託することが一般的になる中で、管理業務BPOサービスについて、今後の可能性を含め紹介を行った。

外部委託運用管理における1日の業務フローは多岐にわたっており、あらゆる業務プロセスを少人数で行うケースが多い。また、新しいファンドの立ち上げで新しい業務体制が必要になるケースも出てくる。このようなビジネス拡大に伴い発生するデータ管理、プロセス管理のリスクに対応するため、ITを駆使したBPOサービスを活用して標準化を図ることによって、資産運用会社は本来業務に特化することが可能になる。



在、T-STARダウンロードデータ等の手作業取り込み、販売会社や印刷会社との連携不十分、スケジュール管理が煩雑といった数多くの課題を抱えていると考えられる。BPOサービスを利用することで、これらを解決し業務負荷を軽減できる（図表2）。

セミナーでは、出席者に講演内容への関心、および導入を検討したいBPOサービス等についてアンケートを行った。その結果によると、データプロセッシング業務や投信基準価額算出業務のBPOサービス活用に興味を持つ資産運用会社が多いことがわかった。業務運営上の問題としては、業務量増加、要員リスク、合併後の体制等が多く挙げられた。また、BPOサービス活用によるコスト削減効果については、2～3割と考える会社が多数であった。高い品質と専門性でNRI-PIIに期待するコメントも寄せられた。

講演5 レポートिंग業務の BPOサービス

NRI資産運用ソリューション企画部 上級システムコンサルタント 河口千代孝

投信レポート作成業務において、資産運用会社が抱える各種課題について、野村総合研究所の「Report Assist」を利用したBPOサービスで解決する方法を紹介した。

レポートング業務では、レポート作成元情報の散

図表2 交付目論見書サービス概要

